市政モニターに聞く

これからの市政はどうあるべきか

昨年の末、「これからの市政はどうあるべきか」のテーマで、市政モニターのみなさんに意見をお聞きしました。
寄せられた報告は、空港拡張問題、財政問題、教育問題などが大部分をしめています。
「空港問題」では「反対」「条件付賛成」。「財政」では「耐えるべきは耐えて衆智を結集」。「教育問題」では「人づくり・道徳教育を」など。ここにその一部をご紹介します。

空港拡張は十分な話し合いを

南国市は膨大な赤字をかかえているそうですが、これの解消がまず第一だろうと思います。と言っても具体的に良い案など思いつくわけもありませんので、小笠原市長以下市役所の方々に頑張っていただく他ないと思います。

次に空港拡張問題ですが、これはとても難しく、また重要な問題だと思います。南国市いやもっと広く高知県の発展のためには、空港拡張は必須の条件でしょう。が しかし、これには公害という問題が伴っています。先ごろも大阪空港の公害に関する裁判に判決が下りましたが、それは住民側の勝利でした。これを見てもわかるように公害は極力避けられなければなりません。人間が健康な生活をおくる権利は憲法でも保障されているのですから。でもこんな事をいくら言ってみてもどうなるものでもありません。結局は賛成派の人々と反対派の人々が、とことん話し合ってよりよい妥当点をみつける以外に方法はないと思います。

とにかく、市民が明るく楽しく住める南国市にして下さることをお願い致します。

教育内容の再検討を

文教問題として提言したいのは教育の内容であります。「礼節と責任感」「道徳教育充実」「人道主義的家族主義」「勤倹貯蓄」「質実剛健」「文武両道」など古いようだがこの鉄則を忘れないような教育内容の再検討をお願いしたい。

都市計画の問題として国分川以北を市街化区域（ただし農地の非宅地課税として）に指定し都計道路中、八幡越戸間の直線路を早期に実現してほしい。国立医大の誘致に伴い附帯施設および人口の増加に即応する用地の流用と市の中心部に通ずる幹線路は早急に必要であります。

次に市役所に対する苦言であります。㋑職員駐車場は全廃することであります。職員通勤車は有料駐車場を利用し全部を一般駐車に解放せよという市民の声が高まりつつあります。㋺公用車使用の規則であります。使用日記により後日になっても使用場所日時を明確に解答できるようにしておいてもらいたい。田圃の畦に時間外に見かけられるという声が出ている。㋩市役所庁舎内における派閥的活動は絶対に禁止してほしい。従来庁舎内の職員机上に政争的活動色のあるパンフレットをよく見かけましたが今後はそのようなことのないように注意してもらいたい。

最後に述べたいことは僅々一カ年で退職せられた杉本市長が残された民主的行政の一面は非常に高く評価されるべきだろうということであります。ただしそれはあくまでも節度と順序を誤らない正常な民主的ルールに従ったものでなければなりません。「市長への手紙」「市政モニター制」の活用は力なき市民の声を市政に反映させるために採用した杉本市長の残された最も優れた業績だろうと思われます。今後のこれが運用を大いに期待いたします。

財政再建と道徳教育を

▼都市計画を速やかに実施すること。

現在のごみごみした市街地をはなれて他の地区に思いきった計画をたてるのも一案と思う。

▼当面せる財政危機をきりぬけ、その健全化をはかることが何よりの急務である。①特に政府の要路にあって経済政策の立案と実施に敏腕をふるわれた新市長に期待する。②庁内外の職員（学校関係を含む）は勤倹の精神に培い、かりそめにも親方日の丸の考えをもたず自ら節約の模範を示しあまねく市民の協力をもとめること。

▼速かに財政の確立をはかり、すでに計画されている学校改築を逐次するとともに、各種教育機器の整備充実をはかるべきである。保育園から小中学を通じ道徳教育の具体的実践と精神教育に力をいたされたい。社会教育、成人教育の機構を充実し格調の高い南国市教育の実現をのぞむ。教育に対する抱負豊かなときく新市長は行政家であるとともに市民の教育者であってほしい。また市民図書館をふくむ総合文化センターの建設も急務である。

▼市の職員には留学制度その他によって研修の機会をあたえ市民に尊敬される良い意味での役人に徹してほしい。課長にいますこし権限をあたえ課長は職員の行動をよく把握し行政の効率をあげることがのぞましい。

▼市民憲章の精神を徹底さすこと。

▼市民の声あれこれ

市政に関心を関心もたれる市政を

まず市政というものは、市民に関心を持たれる市政でなくてはならないと思う。今までの市政は、我われからはるか離れたところで行なわれていたように思う。早い話が、我々が貴い一票を投じて選んだ議員たちの活躍の場である議会も日程は一応紙面に発表されているが、何となく我々の目にとまりにくい。もう少し議会の内容（質問する議員とか、論議される内容）など、我々に知らせる方法はないものだろうか。私は一度ごみ袋の件について検討される時に議会を傍聴したことがある。傍聴席は私を含めて五人ぐらいだった。その時はごみ袋が無料になるか有料になるか検討された時でもあり、市民、特に我々台所をあずかる主婦にとっては関心のある議題であったにもかかわらず、いつ、どこで何の話し合いをされようとも我関せずである。という事はいかに市民が市政に無関心であるか良くわかる。内容がわからないから取つきにくい。たまには我々も議会を傍聴して地元議員の活躍ぶりも拝見したいものだ。〝千里の道も一歩から〟という格言がある。あれもこれもと最初から高望みはしないで地味に一歩一歩進んで行くことが大切ではないだろうか。底辺がしっかりしてこそ、はじめて丈夫な頂点ができる。とにかく、これからの市政は、我々が関心もてる南国市を足でよくたしかめ、①横断陸橋にビラや幕をみだりに掲けないこと。

②職員は執務と休憩の時間にけじめをつけ、みだりに席をはずさないこと。

③老人や婦人がものをたずねた時わかるように親切に教えてもらいたい。

④納得のいく課税をしてほしい。

⑤地方自治に争いをもちこまないでもっと仲のよいすっきりした市をつくってほしい。

耳でよく聴き、目でよく見て、市民とともに良く話し合いのできる市政を行ってもらいたいと切に希望する次第である。

思い切った行政を

地方自治体共通の悩みである財政の問題、これがどうしても大きな、気にかかる問題である。この危機の原因は多々あると思考されるが、不況による税収の自然減、人件費の増大が大きな原因と思考される。「赤字再建団体指定」は市幹部、市民、職員（定期昇給、人件費抑制）みな免れたい気持に変りはないだろう。自力で立上るとすれば、さてどうすればということになる。我々一介の市民には直ちに妙案も浮かばないが、当市としては今が最も立ち上りやすい折と思われる。それは新市長（従来のゆきがかりのない白紙で）新議員（多い新人）が選ばれたことで思いきった行政を望みたい。財政危機を唱えながら、管理職給与、議員報酬引上げを、しかも無難に行っている自治体が多いが、「これだけのこと」がという一事が市民に及ぼす感情が非常に大きいと考えられる。管理職の方はともかく、議員の方々は報酬なんかはあえて意に介しないはずだ。職員とのバランスとよく言われるがバランスなんか問題ないではないか。（県下大手のある会社の重役の給与、賞与をストップした時があった例を記憶している。）

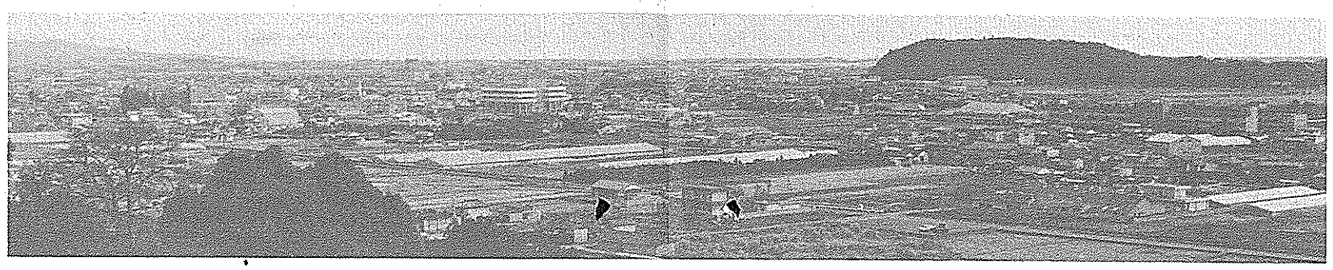
来年度新規採用はどうなっているか承知しないが、当分無採用とすべきだ。（高知市は無採用）折々、職員の執務振りを見るに、余裕があるように見受ける。（官庁では税務署、民間では銀行が多忙ではないか）こうして職員も心してほしい。また我々一般市民としても考えることが多々ある。福祉行政一つを取上げれば「急ぎ過ぎ」とか「見直し論」とかこんな言葉を耳にするようになったが、自分自身、すでに老人の部類だが我々老人としても老人医療の問題などあまえ過ぎた事がありはせぬか、自身心すべきことだ。

限られた紙面で財政のことだけで終ったが、差し迫った飛行場の問題、近々、いずれかに決定しようが、これが本来の市政への影響を案する。とにかく、市、議会、市民は一丸となってどうしてもこの難局を乗越えねばならない。

空港拡張　あくまでも反対

私たち地元民はどこまでも反対しておりますが知事さんと市長さんが一服になれば今までのようにはいかず、とんとん拍子で進められると思いますが日本全国いたる所で反対ばかりしておりますのに私たちだけなぜ犠牲にならないといかんかということです。どんなことがあってもそれだけはやめてほしい。赤字のうまえ合せとか聞きますがどうなんでしょう。赤字財政で苦しい時、あまり大きな事業は見送ってもらって私たち周辺の身近なことを一つ二つお願いしたいのです。

下田村は農道の整理ができておらず草ぼうぼうでリヤカーも引けません。女や老人には大変です。



望ましい自律する精神

ことの真偽はともあれ市民ともども汚名をあびた南国市が今秋には首長も変ったし議席も十二人刷新された。選挙戦という短かい日かずの中でみた新市長は、実にあぶなげのない現実的な名論が充満していた。その抱負のなかで、まっ先に手がけたいという赤字財政のたてなおし、そして市民との対話も必要だろうが守らなければならぬルールは堅持し、公僕として秋霜烈日の姿勢を約した。

人情もろい素朴な田園都市だけに、市民との対話は手抜くわけにはゆかぬが、どんな時でもどんな場所でも不順ななれあいがあってはならぬと同時に、監視する市民の目を意識のあまり枝葉末節にこだわり、大綱を忘れぬことを望みたい。

地方自治に望ましいことは、節度ある財政運営はもちろんのこと、すべてに自律する精神であると思うが、住民にも自分たちの身辺は自分たちも守る気構えを持つことも大事ではないか。公共施設をどんなに整備しても使う人の心が貧しかったらその意味はうすれよう。注文や要求ばかりつきあげても負担や協力はいやだとソッポをむく、これでは正しい自治が育つはずがない。住みよい町づくりはやはり市民もともに自治を探究する意欲と情熱が必要と思う。新市長のいう緑と光と水のあるベッドタウンでない、健康で明るく文化のかおり高い南国市の実現が耳ざわりのよい青写真だけでないよう期待したい。

若者の声あふれる文化都市に

新しい市議会議員さん、市長さんが決まるたび、私は期待と不安がいつも同居しています。不況とインフレが同時におそってくるという経済不安定のなかで、収入は激減、支出はふくれあがるという地方自治体は、あれもこれもと並べるより、まずこの財政危機をどう切り抜けるか真剣に取り組まなければならないと思います。私は専門的なことはよくわかりませんが、ほんの市政の一端を耳にするとき何かしら焦燥を感じます。かりに何かの事業をする時は、最も公共性のある、最も必要なものから、決して圧力をかけることなく公平に行なわなければならないと思います。

今一度見てほしいです。

また子供たちの遊び場がなくてほんとうにかわいそうです。田圃の空地を利用しておりますが、となりの野菜畑が荒されてほんとに迷惑しております。

市長さんも大変おいそがしいことでしょうが地区へおいでいただいて、お顔も見たいしこれからの市政をどんなにして下さるかお話も聞かせてほしいです。

また空港拡張については一度決行すれば子々孫々まで大きな公害に悩まされ続けるであろうと思うと本当に恐しい気がします。たとえ国の仕事でも市民の声を充分聞いて下さい。過日の新聞などの報道でも「せめてあと一時間の静けさを」と太阪空港周辺住民が訴え続けてきたささやかな願いがかなったとありました。拡張予定地の農民は大切な先祖伝来の農地を失い、またせっかく農業に生きる道を見出し故郷に帰ってきたという若者たちはどんなにか淋しくやるせない思いをしていることでしょう。拡張によって恩恵を受ける人がいてもそのために泣く犠牲者や、騒音のため病人や勉強中の子供たちが苦しめられる事のないよう心から願っています。

近い将来、南国市に国立医科大学ができるそうで本当によい事だと思います。高知大学にも農学部とともに法学部、工学部、その他の新しい学部が設置され総合大学として充実され（これは県として国に働きかけることですが）また市民図書館や総合グラウンドなども建設されたらもう県外の大学へ流出する学生も減り明るい若者の声のあふれる文化都市に発展するのではないかなどと静かな住みよい南国市を求めて夢のような事を考えています。

まず心豊かな人づくりを

緑豊かな田園都市を実のあるものにつくりあげることが我々の課せられた課題である。緑豊かなとは心豊かなという裏づけがあってこそ生まれると思う。経済的に恵まれた家庭によい子弟が育つとは限らないが、南国市は高知県の農業の中心地帯でもありあまりにも恵まれすぎている。これからの市政を進める上において、この恵まれた上に更に上を望むのを今は止めてほしいと思う。赤字財政再建のためには耐えるべきは耐えてゆくは勿論だが、上を望まず、まずここは足元を見極めて何を成すべきかをしっかりと判断し衆智を結集して事を処してゆく覚悟がほしいと思う。先づ第一に私は人づくりを取る。民主政治は人に始まり人に終る。国家百年の計はやはり人づくりが先決であり、必ず忘れる事の出来ない事だ。目下の急務は青年教育であり、社会教育であろう。学校教育はその根づくりであって家庭の和と密接な関係がある。世の中がせち辛くなると人はあくせくとして己を失う。いわゆる忙という字の如く、ややもすると損得のみを念頭に明け暮れる日々となる。心豊かな市政とは市民の税金が安くなることではあるまい。たとえ税金があがろうとも市民の納得のゆくような市政を及ぼすならば市民はあまんじて稼業に精励するだろう。ならば市民は何を最も望んでいるか。そのことを的確に把握することの急務たることを知る。市政は議会議員にまかせておけばよろしいという者あらば無責任も甚しいという他はない。目あきめくらの少ない世の発展の為には協力をおしまぬような市民づくり達成こそ緑豊かな田園都市の建設に他ならない。

教育の充実を

教育に力を入れなかったらその結果は指導性の少ない国になり市になってゆくだろう。教育は教科を受け入れることだけではなくて、人は何が大切かをよく知らせることであって、正直さとか義務感、誠実さ、そういうものを兼ねそなえた教育が今ほんとに望まれているように思える。戦時中、学びたくても学べなかった子供の親たちは、現在のむつかしい教科に悩み子供たちと話しあいも少くなりつつある。だから高令者教室に加えて夜間中学のようなものを設け今一度勉強したい人たちに学問の場を与えられたら生きがいも出てくるようにも思う時がある。南国市には立派な大学の先生方もたくさんおられるので奉仕的に南国市のために御奉仕願えればと考えるのは僭越な考えとお叱かりを受けるだろうけれど——。また文部省は将来免許状にこだわらず真に実力のある方には教壇に立ってもらうとも洩れうけ給わったようなこともある。望ましいことであろう。

そして願わくば南国市は少なくともゴミのない町、汚れない川のある市でありたい。そして小さな路地裏にも草花のある市にしたい。手のかからない草花もたくさんある。荒地にも花を……。南国市に入ればとたんに花が美しいというのは単なる私のイメージに終ってしまうだろうかもわからないけれど……。

戦後、一望千里焼け野原になった東京の防空壕の入口に一鉢の朝顔の花の咲いているのを見た米軍の一将校は日本人の心を読み取ることができたという。世は荒れ人心はどんなに汚れてゆくかわからない現状であっても一輪の花を愛する心を基調として国を愛し市を愛し町を愛し美しい南国市をと心から願っているのである。

市民、市、議員　三者一体の努力で

㈠財政危機・先づ財政危機の打開が急務である。原因の探究、それには市民総ぐるみの心構えが肝要で、市民の耐乏生活、市役所の元費節約、議員の猛勉強、三者一体の努力が実行されなければならない。為政者は身を以て範を垂るべきである。即ち、窓口の親切ありて、市役所和らぎ、市民睦みて、事を論ずるにかなえば事理自ら通じ何事か成らざらん。和が第一です。

㈡空港拡張問題・現時点はもはや具体的な話し合いの時期です。反対のための反対でない真実の意見と、関係市民の訴えを県、市の関係者は聞き、説明すべきは充分説明し進展さすべきである。

㈢同和問題・過去数年間にわたり、部落解放、同和教育について学んだ。将来は、ここ数年間における南国市内の事実の問題について学び、語り合うことがなければ、進歩発展はない。

㈣産業・田園都市を自認する当市においては、農業振興を第一としてその指導育成を計らねばならない。市内に農業高校あり、条件はよい公害のない工場誘致も必要である。失業対策ともなり得るからである。

㈤教育・教育委員会は、市内の小、中学の教育にたずさわる教員の質の向上に重点をおいて基本的な人間教育をしてもらいたい。身を以って教育に専念する真の教師の養成に努力すべきである。

社会教育としては、時間励行、公衆道徳、衛生などの民主主義教育を公民館活動として、社会教育委員の活動も望む。

現代社会の傾向は、官民ひとしく要求に次ぐ要求で、不平不満の声が多いが、官民一体となり、少し自省して、現在の危機を脱すべきである。